

授業科目	保健医療総論 4	4 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	城丸瑞恵 (保健医療学研究棟 E209 号) e-mail : shiro.m@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	渡邊耕太、仙石泰仁、宇野智子、青木亜砂子、根木亨、横山和樹、田口裕紀子、植木瞳、中島そのみ、岩本えりか、井平光		
概要	健康障害を持つ対象へのインタビュー、対象者評価、支援計画の立案を通じて、多職種連携の意義と方法について理解することができる。また、グループ討議に能動的に参加して自職種及び他職種の特性・専門性・役割について考え、その内容についてグループ間で共有して深めることができる。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. これまでの多職種連携に関する知識を踏まえ、異なる専門領域と協働した対象者への実践的なアプローチを通して、多職種による連携の重要性を説明することができる。</li> <li>2. 礼節ある対応をおこない、対象者の安全・安心に配慮できる。また、意図的な情報収集から支援計画を作成する過程において、グループでの合意を見出すために、自分の意見を述べ、相手の意見に傾聴できる。</li> <li>3. 自職種及び他職種の特性・専門性・役割について説明できる。</li> <li>4. 健康障害を持つ対象者へのインタビュー、評価、目標・支援計画の立案を通して、専門職種間でどのように協働して目標を達成するか説明できる。</li> <li>5. 医療人を目指すものとして、真摯な姿勢で学習に参加し、多様な価値観を尊重することができる。</li> </ol>		
関連科目	各科の専門科目全て		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	レポート	80%	
	活動状況	20%	
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	保健医療総論学修ガイドブックを持参すること		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	健康障害をもつ人への支援を検討する事前準備① ・事前情報を基に疾患の理解、生活状況のイメージを得る	事後：症例の疾病、障害について調べる	講義・演習	全教員
2	健康障害をもつ人への支援を検討する事前準備② ・インタビュー方法や各学科のアセスメント(評価)方法について学ぶ	事前：アセスメント 評価 方法について調べる 事後：演習のまとめ	〃	〃
3	健康障害をもつ人への支援を検討するためのインタビュー準備 ・インタビューの内容・方法についてグループで検討する	事後・演習のまとめ	〃	〃
4	健康障害をもつ人への支援を検討するためのインタビューの実際 ・対象者に来学してもらい、インタビューを行い、支援に必要な情報を収集する	事後・演習のまとめ	〃	〃
5	健康障害をもつ人への支援を検討するためのインタビューのまとめ ・インタビューを行った内容についてまとめる	事後・演習のまとめ	〃	〃
6	健康障害をもつ人への支援の検討① ・インタビュー内容から、対象者の全体像を把握する	事後・演習のまとめ	〃	〃

7	健康障害をもつ人への支援の検討② ・アセスメント(評価)を行い、支援を必要とする問題点や対象者の利点を明らかにする	事後・演習のまとめ	〃	〃
8	健康障害をもつ人への支援の検討③ ・目標を実現するために必要な支援を討議する	事後・演習のまとめ	〃	〃
9	健康障害をもつ人への支援の検討④ ・支援内容、支援方法を明確にし、具体的な作業を行う	事後・演習のまとめ	〃	〃
10	健康障害をもつ人への支援の検討⑤ ・対象者に提示するための準備を行う	事後・演習のまとめ	〃	〃
11	職種の違いによる思考の相違に対する気づき ・グループ討議を通じて、各学科で注目するポイントやアプローチ方法に相違があることに気づき、その背景について考え、相互の職種理解を図る	事後・演習のまとめ	〃	〃
12	健康障害をもつ人への支援内容の発表① ・対象者に来学してもらい、支援内容について発表する	事後・演習のまとめ	〃	〃
13	健康障害をもつ人への支援内容の発表② ・対象者から支援の妥当性、有用性に関するフィードバックを受ける	事後・演習のまとめ	〃	〃
14	健康障害をもつ人へ提供した支援のまとめ ・対象者からのフィードバックをもとに支援内容の再検討を行う	事後・演習のまとめ	〃	〃
15	職種の違いによる思考やアプローチの相違に対する気づきのまとめ ・グループ討議を通じて、他職種の理解とともに自己の職種の特性、専門性、役割について再考し、医療におけるチームアプローチの可能性や重要性について考察する	事後：レポート作成・提出	〃	〃